

すべての施策を推進するベースとなるのは、やはり財政!! 財政構造改革プランの断行により、財政を健全化。



行財政改革を断行し、効率的な行政運営を行う津山へ

● 財政の健全化と行政サービスの充実を実現

● 歳入増加及び歳出見直しを強化

歳入増の取組強化項目

- 市税収入の確保
- 使用料・手数料の見直し
- 公有財産の有効活用
- ふるさと納税の推進



歳出減の取組強化項目

- 全事務事業の見直し
- 投資的経費の見直しと公債費の抑制
- 公民連携・民間活力導入強化

取組の結果

収支不足が生じた場合に対応する基金残高の回復

- 市長就任当時、市財政計画で、令和12年度の基金残高はわずか3.8億円と推計されていたが、改革プランの断行で、現在は11.3億円に回復!

大幅に改善!
3.0倍

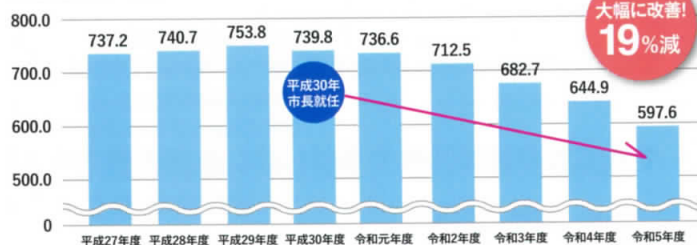
■ 収支不足対応後基金残高の推移 (単位:億円)



市の借金(地方債残高)の減少

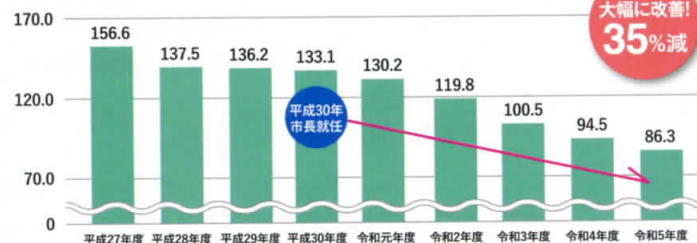
- 市長就任当時の借金739.8億円(H30)を改革プランの断行で597.6億円(R5年度)に削減!
- 市長就任当時の将来負担比率133.1%(H30)を同じく86.3%(R5年度)に改善!

■ 地方債残高の推移 (単位:億円)



大幅に改善!
19%減

■ 将来負担比率の推移 (単位:%)



大幅に改善!
35%減

● ふるさと納税による財源の確保

- R6年度は全国から10.9億円を獲得し子ども医療費公費負担などの財源に充当!
- 市長就任当時(H30年度)の1.8億円と比較し、6.1倍に!

● 活性型行財政改革のさらなる推進で効率的な行政サービスを

● 民間の力を活用する

「コンセッション(公民連携)方式」の導入

- 旧荻田家付属町家群整備(R2)では約7,400万円を獲得(R5から20年間の運営権対価)



● グラスハウスの利活用として

プールから総合スポーツ施設への転換で年間8,300万円の費用を削減(運営権方式)



岡田地方創生担当大臣が視察



自見内閣府特命担当大臣から「大臣賞」を受賞

● 民間提案制度による公共施設の整備や利活用

- 民間事業者による先進的な手法を導入
- 旧高田幼稚園、旧東幼稚園をカフェなどの複合施設として再生(R2、R3)
- 加茂町農産加工直売施設の利活用(R5)

● 公民連携(PPP/PFI)の推進

- 街路灯のLED化(R3)
- 本庁舎壁面への大型ビジョン設置(R5)
- 公共施設19か所に脱炭素化設備を設置(R6)

● 企業版ふるさと納税の活用

- 「津山城・城下町泊プロジェクト」の推進(R6~8)

● 老朽化した市営住宅の代わりに民間賃貸住宅を活用

- 市と宅建協会、不動産協会の3者が協定を締結し実現
岡山県内では初の取組

谷口圭三
たに ぐち けい そう

後援会事務所 Tel.(0868)25-2311

〒708-0004 津山市山北448-3 2F Fax.(0868)25-2311

ホームページ

キーワード検索

谷口圭三



Facebookもご覧ください

